

スーパームーンは大きく見えるのか？

戸田博之、栗野論美、松岡友和、斎藤未夏、岡山天文博物館

1. はじめに

近年「スーパームーン」という言葉を見聞きするようになった。特に2016年11月の「スーパームーン」は「68年ぶりの大きさ」などとして取り上げるマスコミが多かった。しかし、その報道の多くは、錯覚や撮影技法によって「大きいように見える月」が紹介され、実際の月の大きさの違いを正しく伝えているものは少なかった。そうした中、岡山天文博物館では、満月の大きさの違いを体験する「11.14 スーパームーン 徹底調査『月の大きさのちがいがわかるかな?』」と題する展示を急遽準備し、来館者に満月の大きさの違いがわかったかのアンケートをおこなった。今回、そのアンケート結果について報告する。

2. 実施方法

I) 2016年最大の満月と最小の満月の画像を、回答者から視直径が実際と同じになる距離に掲示した。

【Q1】二つの満月の大きさを比べると、どのように見えましたか？

- (1) 右の満月が大きく見えた
- (2) 左の満月が大きく見えた <正解>
- (3) 右も左も同じ大きさに見えた

II) Iの満月の画像が見えない別の場所に、Iと同様に回答者から視直径が実際と同じになる距離に満月の画像を1枚掲示した。

【Q2】この満月の大きさは、もっとも小さい？もっとも大きい？どちらの満月の大きさに見えましたか？

- (1) (もっとも) 大きい満月の大きさに見えた
- (2) (もっとも) 小さい満月の大きさに見えた <正解>
- (3) 中くらいの大きさに見えた

なお、アンケート回答者には粗品を進呈した。

3. アンケート結果

来館者の内259人から回答を得た。

【Q1】	人数
(1)右の満月が大きく見えた	12
(2)左の満月が大きく見えた	227
(3)右も左も同じ大きさに見えた	10
わからなかった	10
合計	259

【Q2】	人数
(1)(もっとも)大きな満月の大きさに見えた	64
(2)(もっとも)小さな満月の大きさに見えた	116
(3)中くらいの大きさに見えた	67
わからなかった	12
合計	259

見比べると9割近くの人が大きさの違いに気づくことができていた。しかし、単独で満月の大きさを判断する場合は、正しく判断できる人は5割に達しなかった。また、回答者からは、

- ・大きいか、小さいか大きさの違いがわかりにくい。
- ・「スーパームーン」と言っても、大きさはあまり変わらないのがわかった。

などのコメントがあった。ポスターでは、アンケートを年齢・性別に分けて集計した結果も報告する。